

成人は町の大黒柱 すすんで地域に携わろう ～成人教育推進目標～

## 第47回 湧別町民大学を開催します

- 会 場：湧別町文化センターTOM
- 時 間：各回とも午後7時開講
- 対 象：一般（町外の方も受講できます）  
※小中学生も受講できますが、成人の同伴が必要です。
- 受講料：全5回共通 1,000円  
1講座のみは 500円  
※小中学校PTA会員・高校生以下無料
- 申込み：8月9日（水）受付開始
- お問い合わせ：湧別町民大学実行委員会事務局  
（社会教育課内）  
TEL 01586-5-3132

湧別町民大学

（湧別町公式ホームページ内サイト）



日常のさまざまな生活課題について、参加者が相互に学ぶ機会として、生涯学習講座「湧別町民大学」を開催します。

9月27日（水）の1回目の講師は、元NHKアナウンサーでスポーツ実況アナウンサーとして活躍された山本浩さんをお迎えします。

以降も多彩な講師を迎え、暮らしに役立つ知識や新たな気づきに結びつくようなお話をうかがいます。ご家族、お友だち同士で、また職場のお仲間などお誘い合わせの上、ぜひお越しください。



第1回 9月27日（水）

やまもと

ひろし

山本 浩 氏

法政大学スポーツ健康学部教授／元NHKアナウンサー・解説副委員長  
『実況席からの日本のスポーツ  
～スポーツがつくるまちづくり～』



第2回 10月11日（水）

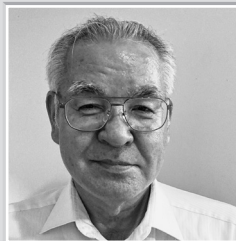
こいずみ

たけお

小泉 武夫 氏

農学博士／東京農業大学 名誉教授

『「農業」と「食」から  
日本再生を考える  
～発酵学入門～』



第3回 10月25日（水）

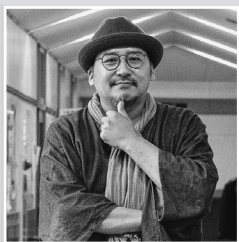
かやの

しろう

荻野 志朗 氏

荻野茂 二風谷アイヌ資料館 館長

『北海道のアイヌ語地名は  
情報の宝庫』



第4回 11月8日（水）

おおつじ

ゆうすけ

大辻 雄介 氏

北海道大空高等学校 学校長／  
総務省 地域情報化アドバイザー

『小規模校こそ面白い  
～魅力ある学校づくり～』



第5回 11月15日（水）

ながせき

ひろき

永関 博紀 氏

株式会社 挑戦舎 代表取締役社長

『好きなこととして生きていくために  
～ギネス最速米国縦横断裏話～』



少年は町の未来 夢に向かって力をつけよう ～少年教育推進目標～

## “休みの日、何をして楽しもう？”湧ゆう湧くわく体験塾“ナイスショット！”～パークゴルフ体験～

湧ゆう湧くわく体験塾では6月17日に芭露パークゴルフ場に行ってきました。暑くもなく、寒くもなく運動をするにはちょうど良い絶好の天候でした。湧別パークゴルフ協会の本田勝樹会長をはじめ4名の会員による指導でパークゴルフのルールやスティックの持ち方、目標のねらい方などを教わり、徐々に距離感や打ち方のコツをつかんでいきました。初めてのパークゴルフ体験の子どもたちも多くいましたが、グループに分かれてのチーム



対抗戦を楽しむことができました。打つ順番を考えたり、仲間を応援するなど子どもたちが自ら工夫したり、相互に交流したりする場面がたくさん見られました。

体験塾ではこれからも、地域の皆様とのつながりを大切にしながら、塾生同士の交流の輪を広げる活動を進めていきます。地域の皆様に体験活動の指導をお願いすることがあるかもしれませんが、その時はどうぞよろしくお願いします。





少年は町の未来 夢に向かって力をつけよう ～少年教育推進目標～

## 子ども会フットベースボール交流会が行われました

7月2日に湧別町青少年指導センター（平野寿雄所長）主催の子ども会フットベースボール交流会が中湧別ゲートボール場で開催され、小学校1年生から6年生までの23名が参加しました。

交流会を迎えるまでに自由参加として実施した合同練習会にも多くの参加があり、当日には練習の成果を見せるプレーが続出しました。地区に関係なくお互いに声を掛け合うなど白熱した交流会となりました。



## 「ラリーエッセイ」 「スポーツ推進委員委員さんのある一日」 第152回

湧別町に引っ越してきて2年目になりました。自分が小学校の頃に過ごしていた町なので、懐かしさを感じながら日々を過ごしています。

私には2歳の息子がいますが、湧別町に引っ越してきた年にこども園に通い始めました。それまでは言葉が少なくてのんびりした子だったので、私も妻も少し心配していましたが、園に通い始めるとたくさんのことを覚えてきました。今は「〇〇だよー。」と何かを教えてくれたり、音楽を聴いて体を動かしたり、また、広場に行くとずっと駆けまわったりして元気に過ごしています。周りの環境からの刺激も大事なんだと実感しました。

次は一体何を覚えてくるのでしょうか。これからいろいろなことを覚え、成長していく息子の姿を見守っていきたいと思います。

スポーツ推進委員 藤崎 俊介



高齢者は町の知恵袋 豊かな経験を地域で生かそう～高齢者教育推進目標～

## “国宝を見に行こう!”チューリップ生きがい大学日帰り研修会を行いました。

チューリップ生きがい大学では6月7日に日帰り研修会を実施しました。

北海道で2番目の国宝「白滝遺跡群出土品」の見学に遠軽町埋蔵文化財センターへ行ってきました。1965点の石器が一括で国宝に指定されています。小さな石器から35センチ余りもある大きな石器まで、形や大きさも使い道も様々なものが展示されていました。石器時代の人々がかなり高い技術で、用途に応じた石器を大量に生産していたことが分かります。この日は見学だけでなく、全員で黒曜石を使ったペンダント作りにも挑戦しました。

お昼ご飯は「遠軽町道の駅・森のオホーツク」でみんな揃ってお弁当を食べました。昼食後



には、コーヒーを飲んだり、ショッピングを楽しんだり、ソフトクリームを食べたり、また足湯を楽しんでいる学生もいました。

午後から、昨年8月にオープンした遠軽町芸術文化交流プラザ「メトロプラザ」に行きました。係の方がホール内を案内してくれました。音響が素晴らしい施設ということで評判になっています。ホールだけではなく、会議室や調理研修室、カフェ等もあります。この日は共用スペースで遠軽高校の学生さんが勉強している姿も見られました。





図書館は町民の憩いの場 みんなで学び楽しもう～図書館活動推進目標～

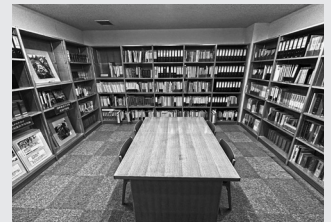
## 図書館の色～いろいろ～

### 貸出中心の中湧別図書館

今話題の本をはじめ、時代小説、刑事小説、ドラマ・映画化原作本など数多くの本を紹介しています。そして、知っていただきたいことは、貸出本は、中湧別図書館で借りて、湧別図書館で返却が可能。または、湧別図書館で借りて、中湧別図書館で返却できます。とっても便利です！



### 学校支援・調べものの湧別図書館



移動図書館車「わくわく号」が学校支援を中心に活動しています。小中高校生向けの本がそろっています。

また、北海道新聞の日曜版に掲載された本を幅広く紹介しています。

さらに、郷土資料など調べものに役立つ資料を多く取りそろえています。

用途に合わせて、2つの図書館をご活用ください。

## 今年も「北海道日本ハムファイターズ読書推進全道キャンペーン」に参加します！

今年も「本を読んでファイターズを応援しよう」(2023)に参加館として登録しています。

キャンペーン内容を達成して、今季オープンしたエスコンフィールドHOKKAIDOで開催されるファイターズの試合の招待券を手に入れよう！

【キャンペーン参加方法】夏休み前に学校で配布された「チラシ」をご確認ください。

【キャンペーン対象者】町内の小学生

【キャンペーン申込期間】令和5年7月31日(月)まで

【キャンペーン実施期間】令和5年7月26日(水)～8月20日(日)

## 中湧別図書館「読み聞かせ会」を再開します！

中湧別図書館の「読み聞かせ会」を9月から再開します。

ボランティア・メンバーによる個別の「読み聞かせ」も行います。

詳細については、次号でご案内します。



### 8月の図書館休館日

8月1日(火曜日)、7日(月曜日)、14日(月曜日)、21日(月曜日)、28日(月曜日)、31日(木曜日)

\*図書館休館日に返却される方は、玄関にあるブックポストをご利用ください。

【開館時間】10:00～18:00

【貸出冊数】ひとり何冊でも借りられます。

【連絡先】中湧別図書館 電話 2-3150  
lib-n@town.yubetsu.lg.jp

【貸出期間】2週間

湧別図書館 電話 5-3122  
lib-y@town.yubetsu.lg.jp



博物館シリーズ  
「友好都市」71年前の「シン湧別」  
湧別と新篠津のつながりが出来るまで博物館だより  
—ふるさと館 JRY・郷土館—  
【第162号】

新篠津と友好都市の締結をしたのは平成15年(2003年)10月29日、今年で20周年を迎えることになります。そこで、今回は湧別と新篠津の関係のはじまりについて紹介します。

**戦後食料不足による篠津原野の開拓** 終戦後、昭和20～22年引揚者などで人口は621万8000人増加し、総人口は7862万7000人。当時国内の米生産高は約6,000万石、台湾等から1,000万石を移入し、必要量をなんとか確保していました。(米の1石は1,000合。1人1食1合とすると、1石は成人1人が1年に消費する米の量にほぼ等しい)しかし、終戦年は収穫高3,900万石という凶作で人口急増と合わせて、食糧の不足は深刻でした。昭和20年(1945年)に「緊急開拓事業実施要領」が閣議決定され、全国の未開拓地の開拓がはじまりました。石狩川流域篠津原野の泥炭地も開拓の対象となりました。

篠津原野にある新篠津村では昭和22年(1947年)組合を設立、造田事業を実施、さらに昭和26年(1951年)から北海道開発庁が篠津運河の再掘削、土地改良事業の実施し、開拓の環境が整いつつありました。引揚者等の入植者はありませんでしたが、当時の野村村長は管外から農業経験者を入植者として迎えようと考えました。

**当時の湧別、人口は現在の3倍!** 当時、湧別は上湧別村と下湧別村に分かれていましたが、上記のように湧別でも引揚者等で人口は昭和25年(1950年)両村合計で25,505人にもなっていました。土地不足が大きな問題となり農家の次男三男は「家にいて、出るに居られず、居るに居られず」となり、全国的にも同様で当時の社会問題でもありました。

**湧別から新篠津へ集団入植** 当地出身者の福島正雄が新篠津の野村村長と知り合いだったため、湧別の土地不足と新篠津村の人手不足という両者の課題が偶然にも共有されたのでした。そして昭和26年(1951年)に助役をはじめ町議会・農業委員会関係者が数回にわたり、現地を視察、調査するとともに、道庁入植課や石狩支庁など関係官庁と打合せました。その結果、新篠津村の北北西の未開地に、1戸当たり約10ha、30戸(約300ha)の入植を決め、昭和27年(1952年)に湧別から入植第一陣19名が新篠津村に到着しました。これが、湧別と新篠津の交流のはじまりとなります。



**シン湧別＝新篠津村「新湧地区」** この湧別からの入植者が入った地区はその年に「新湧(しんゆう)」という地名が付けられました。新しい湧別、新篠津と湧別という2つの意味が込められた「湧別」の名が由来となった地名です。

**湧別地区からも新篠津へ** 計呂地の郷土史(昭和61年発行)には、4名の方が新篠津村に転出されたという記録がありました。新湧地区の地域誌には、芭露地区から1名、志撫子地区から1名の入植の記録がありました。他の地域誌では記録はみつかりませんでしたが、湧別地区からの移住者もあったのでした。

**令和5年は新篠津村と友好都市締結20周年**

篠津原野泥炭地の開拓、管外入植者導入の決断、次男三男問題そして、課題の共有とどれが欠けても湧別からの新篠津への入植は実現しなかったでしょう。そして、入植者の努力と成功がなければ「新湧」という地名は今日まで残っていなかったでしょう。他の歴史と同様に多くの要素がタイミングよく重なりあって新篠津村とのつながりが出来ました。令和5年の今年、入植から71年、姉妹都市締結20周年を迎えます。

写真出典、参考資料:「想出を綴る」新湧自治会30周年記念事業実行委員会 昭和56年  
「北海道戦後開拓史」北海道 昭和48年

## 湧別町生涯学習情報「湧く湧く」2023年7月号 No.162

編集発行…湧別町教育委員会 社会教育課 〒099-6404 北海道紋別郡湧別町栄町 219-1  
<https://www.town.yubetsu.lg.jp/>

印刷…中湧別印刷(中湧別南町) 発行…令和5年7月25日

記事へのお問い合わせは下記へ

\* 社会教育課社会教育グループ…電話: 01586-5-3132 FAX: 01586-5-3710  
メール: shakyo@town.yubetsu.lg.jp

\* 湧別図書館……………電話: 01586-5-3122 FAX: 01586-5-3256

\* 中湧別図書館……………電話: 01586-2-3150 FAX: 01586-2-3190

\* ふるさと館 JRY……………電話: 01586-2-3000 FAX: 01586-2-3200

※湧く湧くで紹介する事業の予定は、今後の社会情勢によっては、中止や延期となる場合もあります。ご了承ください。